

謹賀新年

理事長 杉田 勝彦



新年明けましておめでとうございます。令和時代が幕をあげ、初めての新年を迎えました。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

埼玉療育友の会の運営につきましては、日頃より多大なるご高配を賜り、衷心よりお礼申し上げます。昨年(台風19号)により甚

大な被害に遭い、未だ避難を余儀なくされている方もいらつしやいます。心からお見舞い申し上げます。幸い当法人の施設はさほどの被害はありませんでしたが、富士見市にあります「はるな苑」は、近くを砂川掘が流れており平成28年の台風9号の際は流域で床

上浸水が発生したことから心配をしていたところから、今回、富士見市のご支援、県による堤防の高上げ工事により事なきを得ることができ、感謝申し上げます。

さて本年は、法人の中核であります埼玉療育園の新病棟が夏頃までには完成する予定であります。この新病棟の建設が、ご利用者の皆様、職員の方々の環境向上に寄与することを確信するものであります。

山鳩よりは今年で40周年を迎えますが、改めてこれまでの経験、実績を検証し、更により良い施設づくりに邁進して参りたいと考えております。

はるな苑におきましては、地域に根差した質の高い介護をモットーとして取り組んでおりますが、引き続き丁寧な入所に努めて参ります。

本年も当法人の創設者である蓮江信行博士の教えである福祉の砦としての使命感をもって、三施設が連携してご利用者の皆様の安

全、安心を最優先とした職務を執行して参りたいと存じます。

引き続き関係各位のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

わたしたちの理念

笑顔 あいさつ 思いやり

わたしたち埼玉療育友の会職員は、創立者蓮江信之博士のともした福祉の灯を守り育て、福祉の砦になりたいと思います。

埼玉療育園

園長 松本 延幸

新年明けましておめでとうございます。今年(長年の夢であった新病棟)が出来上がります。新しい埼玉療育園の一層の飛躍と発展を祈念して、過去を振り返りながら懸案の課題を再確認して参ります。

第一は「安全・安心の医療と看護、満足度の高い介護と保育」でした。残念ながら、昨年(台風19号)により甚

利用者への失礼な振舞いがありました。もう一度「思いやり」の心でご利用者の一人ひとり(わが子)と想って接する原点に立ち返りたいと思います。

第二は「働く人の権利を守り、働く意欲の湧く労働環境を整える」でした。昨年は本館が改築され明るく清潔な居室となり労働環境は大きく改善されました。新築の病棟には職員のための付属施設も整備されアメニティーの向上が期待されます。また特定処遇改善手当の支給も始まり待遇面でも見直されています。年休を気兼ねなくとれる体制を整え、埼玉療育園での勤務希望者を沢山募っていきま

第三は「社会への貢献」でした。児童虐待の報道に触れない日がないほどさまざまな世相になっていますが、これまで以上に児相や行政と連携して被虐待児を積極的に保護し、在宅養育への支援を充実させて被虐待児を生まない環境を構築することも私たちの使命です。

保護者の方々、関係各位の皆様の一層のご指導、ご鞭撻、ご理解、ご協力を賜りながら新しい年を歩んでいきたいと思っております。

山鳩より

園長 吉田 泰明



新年明けましておめでとうございませう。最近、在宅介護の重要性が増し介護するご家族等の負担の増加が問題になって

山鳩よりは今年で40周年を迎えますが、改めてこれまでの経験、実績を検証し、更により良い施設づくりに邁進して参りたいと考えております。

はるな苑におきましては、地域に根差した質の高い介護をモットーとして取り組んでおりますが、引き続き丁寧な入所に努めて参ります。

本年も当法人の創設者である蓮江信行博士の教えである福祉の砦としての使命感をもって、三施設が連携してご利用者の皆様の安